



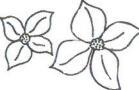
やまぼうし

社会福祉法人 市島福祉会

認定こども園いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市島町上垣138-1
(電) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



＜教育・保育理念＞

受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぽい
じぶんらしく
まっすぐに

変わりゆく常識 抱っこの仕方

昔は『抱き癖がつく』と良く言われましたが、現在ではたくさん抱っこしてあげる子育てが推奨されています。

抱っこして甘やかしなの?

本来、抱っこというものは決して甘やかではありません。親と子の大事な「スキンシップ」であり、親やまわりの大人からの愛情をたっぷり感じられる手段です。抱っこする側からしても子どもを抱っこしている時は幸せな時間です。

そもそも“甘やかし”というのは、例えば何かの玩具などを欲しいと言われてすぐに買ってあげる…というような行為のことです。あつて、子どもがどうしてもできないことに手を貸してあげることや、抱っこのように子どもの『情緒的な欲求』に応えてあげることは決して甘やかしではありません。子どもが求めてきたらつぱりと抱っこをしてあげて安心でつつむことが大事です。

抱っこをすると良いことがある
特に赤ちゃんは抱っこしてもらうことで安心感や信頼感を覚え、情緒が安定します。また、他の発達のさまざまな面でよい影響を及ぼすことが、近年の研究によりわかつています。抱っこを求めるのは赤ちゃんが健全に発達している証拠なので、何も心配せずにたくさん抱っこをしていくべきなのです。

子どもにとって「抱っこされて、その人の温もりを感じる」というのは何よりも安心するものです。抱っこを求めた時にそれに応じてもらう…という経験を重ねることで、子どもは精神的にも安定します。



※基本的信頼感…大切に養育してくれて愛情や
甘えの欲求を受容してくれる養育者への信頼感を
通して、自分という存在を肯定的にとらえ、
外界は信頼できるものだという感覚をもつこと。

忙しい時は「ちょっと待つていてね。」と声をかけて、落ち着いた時に必ず抱っこしてあげるようにすれば、子どもは安心して基本的信頼感を身につけます。

冬の日が近づく。
外の寒さと荒涼に^{ろへん}つけても、
しのばれるのは田舎家などの炉辺の
味である。ただ暖かいというばかり
ではない。

冬の日が近づく。外の寒さと荒涼につけとも、しのばれるのは田舎家などの炉辺ろへんの味である。ただ暖かいというばかりではない。

倉橋惣三の言葉

炉邊味
ろへんみ

倉橋惣三(1882~1955)

「日本のフレーヘル」あるいは「日本の幼稚教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論はまさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。